公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

令和８年度　特別講演会

「きれいな海から豊かな海へ：令和の里海づくりの考え方と実践」

瀬戸内海環境保全推進ポスター２０２２年佳作作品より

参加費無料

2026年5月29日（金）15:15～16:45
（開場15:00）

講師：内山　雄介（神戸大学大学院工学研究科教授）

神戸国際会館セミナーハウス　９階大会場

神戸市中央区御幸通8-1-6　アクセスMap

定員 先着２５０名

会場参加　定員５０名
Zoomウェビナー定員200名

【電車をご利用の場合】
JR三ノ宮駅、各線「三宮」駅より徒歩約5分

【参加申し込みについて】

WEB参加ご希望の方は、**Zoomウェビナー**　からお申込みください。
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_zVWSDW88TLmmp8jqZheZLw

会場参加ご希望の方は、**Googleフォーム**(https://forms.gle/ViDzJEMFkZkwJqax6)もしくは、メールでweb@seto.or.jp に氏名、所属、メールアドレスをご入の上、お申し込みください。

Zoomウェビナー QRコード

Googleフォーム QRコード

詳細はＨＰをご覧ください https://www.seto.or.jp/event/item1483

主催　公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

演題：「きれいな海から豊かな海へ：
令和の里海づくりの考え方と実践」

講師：　内山　雄介　神戸大学大学院工学研究科　教授

1998年東京工業大学にて博士（工学）取得。
港湾空港技術研究所、カリフォルニア大ロサンゼルス校等を経て
2011年より神戸大学准教授、2015年より現職。
海洋物理学・海洋工学・計算流体力学が専門。
環境省設置の「今後の里海づくりのあり方検討会」では、座長として「今後の里海づくりのあり方に関する提言」の取りまとめに尽力

要旨：本講演では、総量規制を中心とする水質保全施策によってになってきた歩みをふり返るとともに漁獲資源の低下や栄養塩類管理など新たな課題を踏まえ、環境行政がトップダウン型の規制中心から、地域主体・ボトムアップ型の「令和の里海づくり」へと軸足を移しつつある政策転換の流れを解説する。あわせて、ブルーカーボン等を活用した好循環の形成と、その実装を支える手引書改定のポイントを紹介する。

【会場のご案内】

各線三宮駅より、三宮地下街からお越しいただけます。
地下街・地下通路から【A8出口】【神戸国際会館】へお進みください。

・JR神戸線三ノ宮駅…中央口を出て左へ徒歩3分
・阪急神戸三宮駅…東改札口を出て右へ徒歩3分
・阪神 神戸三宮駅…西口を出て左へ　徒歩2分
・地下鉄西神・山手線三宮駅…東出口を出て徒歩5分

※神戸国際会館1階より東エレベーターをご利用ください。

※西エレベーターではお越しいただけませんのでご注意ください。

瀬戸内海環境保全協会

【問合せ先】公益社団法人瀬戸内海環境保全協会
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号　人と防災未来センター　東館5階
TEL　078-241-7720　FAX　078-241-7730　E-mail web@seto.or.jp